

脱炭素先行地域の本県初の採択について 知事コメント

本日、環境省より、脱炭素先行地域の第6回公募に係る選定結果が公表され、本県では、米沢市と飯豊町の2市町が共同で提出した事業が採択されました。

脱炭素先行地域としては本県初の採択となり、誠に喜ばしく思いますとともに、2市町はじめ、関係者の皆様による連携の積み重ねの賜物であり、深く敬意を表します。

本県では、令和2年8月に、2050年までに温室効果ガス実質排出ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言し、県民総ぐるみで脱炭素化に向けた取組みを展開しております。

本県におけるカーボンニュートラルの実現に向けては、市町村における地域脱炭素の取組みの一層の推進が欠かせません。

このような中、2市町の地域資源を活かした本事業は、まさに県内市町村のモデルとなる先進的な取組みであると考えております。

県としましても、本事業の共同提案者として、こうした先進的・効果的な脱炭素施策の他市町村への紹介及び意見交換・情報交換を行う勉強会の開催などを通して、脱炭素の取組みの県内への横展開を図ってまいります。併せて、引き続き、地域の脱炭素に意欲的に取り組む市町村を支援してまいります。

令和7年5月9日

山形県知事 吉村美栄子